

市民本位の公約推進を表明 しかし大型開発に問題点も

秋葉市長
所信表明

秋葉市長所信表明について 日本共産党広島市議団のコメント

2003年2月28日

乳幼児医療費就学前無料化など、荒木・平岡前市長との違い明らか

2月25日市議会本会議でおこなわれた秋葉市長の二期目にあたっての所信表明は、冒頭、緊迫するイラク情勢に関して被爆地ヒロシマからの明確な戦争反対の意思を示しました。

注目されていた乳幼児医療費就学前無料化、基礎学力の向上と少人数学級の段階的導入、地元業者のための小規模事業の発注、ゴミゼロをめざす具体的行動の開始、公共事業を見直す監視委員会の設置、男女共同参画を推進するための女性助役登用、18歳以上の住民投票条例の提案、市民との対話の充実など、選挙公約の積極面を取り入れており、かつての荒木・平岡前市長の所信表明とは大きく違ってきています。

一方、「ヤード跡地商業施設」「出島展示場建設」に一般財源から今後5年間に 230億円も支出

しかし、その一方で、ヤード跡地への商業施設誘致や出島埋め立て地への展示場建設も打ち出しています。この二つの大型プロジェクトの用地は、荒木・平岡前市長時代に、市が保証人となり、土地開発公社に借金をさせて購入したものであり(両方の土地購入費約240億円)、この土地の利子払いだけでも毎年4億4千万円(ヤード跡地2億6870万円、展示場1億7400万円)という、文字通りの「負の遺産」です。

だからといって、ヤード跡地に商業施設と球場をつくれれば、市が土地開発公社から土地を購入するだけで123億円、建設費への補助金50億円、周辺整備に30～40億円、合計200億円以上かかります。展示場建設も、土地購入費128億円、建設費100億円、合計で228億円(国が一部補助しても153億円は市負担)と莫大な予算が必要となります。これらの一部を起債(借金)でまかなったとしても、市の一般財源からの支出は、2つのプロジェクトの合計で230億円、今後5年間で年平均50億円の支出となります。

ヤード跡地への大型商業施設の進出が現在の地元経済に与える影響も計り知れません。また、出島の展示場の開業当初の稼働率は、当局の市場調査資料でも目標の25%、見込みを含めても40%にしかならず、赤字経営は必至です。仮に必要性があるとしても、あまりにも時期尚早です。

これでは福祉・教育に予算まわらない 公約どおり早急に公共事業見直しを

現在の厳しい財政状況のもとで毎年こんな支出をしたら、福祉・教育へ予算をまわすことはできず、市長公約の実現も困難になります。市長の公約どおり、「早急な公共事業の見直し」は待ったなしです。

日本共産党は、秋葉市長に対して市民の利益となる内容については大いに評価し、その実現のために全力を尽くすと同時に、大型開発の問題点は率直に指摘し、計画の延期・縮小・中止など、早急な見直しを求めて奮闘します。

村上あつ子市議の一般質問

多数の傍聴をお願いします。



3月3日(月) 午後1時～(3番目)

市長の基本姿勢について
イラク問題について
雇用対策について
温品バイパス無料化について
出島沖・産廃処分場計画について
段原再開発について

介護保険と障害者施策について
入札問題について
学校教育について
ヤード跡地利用計画について
メッセコンベンション建設について
議会改革について

2月・予算議会 日程

2月25日(火)	本会議 市長の施政方針に関する所信表明 平成15年度・14年度関係議案市長説明
28日(金)	本会議 市長施政方針に対する質疑、総括質問
3月3日(月)	本会議 市長施政方針に対する質疑、総括質問
4日(火)	本会議 市長施政方針に対する質疑、総括質問 予算特別委員会設置・付託
6日(木)	予算特別委員会 文教関係
7日(金)	予算特別委員会 厚生関係
10日(月)	予算特別委員会 経済環境関係
11日(火)	予算特別委員会 建設関係
12日(水)	予算特別委員会 上下水道関係
13日(木)	予算特別委員会 総務関係
14日(金)	常任委員会審査
18日(火)	討論・採決
19日(水)	本会議 平成15年度・14年度関係議案議決

いずれも午前10時から